

ふるさと通信

ふるさとの人も、ふるさとじゃない人も。



タイププロモーション動画 秋田市公式Instagram

令和5年7月の豪雨災害からの復旧・復興に際して、全国の皆様からの温かいご支援が、災害から立ち上がる力の源となっています。あらためて感謝申し上げます。

本市には豊かな自然や田園の恵み、旬の食べ物など四季を感じる暮らし、古くから脈々と築き上げてきた歴史や文化があります。こうした魅力を全国の方々に知っていただきたく、ふるさと納税の返礼品として様々な特産品をご用意しております。

皆様からいただいた寄附金は、秋田市総合計画「県都『あきた』創生プラン」が目指す、元気な秋田市と暮らしの豊かさを次世代に引き継いでいくために活用してまいりますので、今後とも、多くの方々からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

秋田市長 穂積 志



公式 HP



Instagram



X



MIRRORLIAR FILMS × 秋田市

— 若者の挑戦を応援するまち —

秋田市では令和5年度から、クリエイターの発掘・育成を目的に、「ミラーライアーフィルムズ」と連携し、映像製作を通じた地方創生プロジェクトを展開し、本市の若者たちが映像製作を通じてまちの魅力を再発見し、このまちで夢に挑戦できる機会を創出しています。

市民と市内企業、秋田市が一体となった実行委員会を設立するとともに企業版ふるさと納税制度を活用して、若者の挑戦を応援する体制も築きました。このような環境の中で、市内の大学生たちが、一流クリエイターの撮影現場を経験し、その空気感や技術を間近で体感しました。また、学生がプロから映画製作を学ぶワークショップでは2本の短編映画を制作しました。

「秋田市でも、地方でも、全国・世界を見据えたクリエイティブな挑戦はできるんだ」。学生や若手クリエイターが、このまちを舞台に挑戦していく姿からは、地方の新たな可能性が見えてきます。

MIRRORLIAR FILMS AKITAとは？

映画は、人とまちをつなぐー



絆がまちを勇気づけた

令和5年7月に発生した豪雨災害により、竹中直人監督作品「たてこもり」のロケ地が被災。スタッフや住民が丸となって復旧に臨み、撮影が実現した。

漫画家の大橋裕之監督作品「変哲の竜」も同時期に撮影し、監督はじめスタッフが秋田を元気づけようと学生や市民と交流した。両作品には市内大学生たちが助監督補助で撮影現場に参加。一流の現場の空気感を間近で体験し、「ここ、秋田でも一流から映画を学ぶことができる」と目を輝かせた。

この2つの短編映画を含むオムニバス映画「MIRRORLIAR FILMS Season5」は、学生がプロから学び制作した「参画屋の仔羊たち」とともに、映像配信サービス「Lemino」で独占無料配信中！DVDもレンタル＆発売中。



DVD情報



Lemino

作品で浮かびあがった 秋田市のまちのポテンシャル

小栗旬監督・浅野忠信監督作品を市内で撮影。両作品は秋田市内様々な場所で撮影され、作品の世界感の一要素となるロケ地の新たな魅力も引き出されたとともに、炊き出しや寒さを凌ぐスペース提供など、まちが全力で撮影をバックアップした。また、コマ撮りで撮影された浅野監督作品の現場では、アートな世界感を吸収したいと、学生たちが真剣な表情で撮影補助を続ける中、監督から「撮ってみる？」と、学生も撮影に挑戦することができた。

2作品を含むオムニバス映画「MIRRORLIAR FILMS Season6」は、令和6年12月13日（金）より2週間限定で全国劇場公開。

その後、学生がプロから学び制作した「ボクと鹿」とともに全国2000店舗以上の「カラオケJOYSOUND「みるハコ」サービス」や映像配信サービス「Lemino」などで展開予定。



予告編

一流の本気に食らいつこうと必死の学生たち。
浅野監督が、学生にカメラを渡した。



学生による2つの地域特別制作作品

一流の創造力と才能を目の当たりにした学生たちが、自ら秋田市のまちを歩き、シナリオの種となるモチーフ探しからロケ地探し、実際にカメラや機材を使った撮影、出演、撮影小物の制作等を行った2作品です。

参画屋の仔羊たち



秋田市新屋に実在する雑貨店が舞台。実際に新屋駅に置かれている「ナヤマキクヨノート」から発想を得た学生のアイデアがモチーフとなっている。監督や撮影体験、メインキャストにも学生が出演している。

ボクと鹿



舞台は秋田市南通。学生がまちの人々にインタビューを行ってまちの資源を発掘し、作品の世界感に取り入れた。作品に登場する美術品等を学生たちが制作し、出演も行った。



予告編

秋田市先行上映イベントで 若者の挑戦を発信

MIRRORLIAR FILMS AKITA上映祭



令和6年3月のイベントでは、主にSeason5作品の上映を行い、企画・当日の運営・出演に学生たちが参加して若者の挑戦を発信しました。テーマは「BOUNDLESS」。田舎ではクリエイティブなことができないという意識の縛りを無くし、秋田市に広がる可能性にわくわくして走り出してほしい、という意味がこめられています。終了後には学生が自主的に反省会を行い、司会の相場詩織さんやイベント運営会社などのプロからイベント運営を学ぼうとする姿が見られました。この経験や反省点を活かして次の文化祭に向けて準備をしています。

若者たちの挑戦は 次のステージへ…

映画とは“大人の文化祭”。若者たちが、このまちで仲間とともに個性を発揮し、作品を作り上げた記憶は、彼らの糧となり、次なる挑戦につながっていく。

「MIRRORLIAR FILMS」で一流クリエイターから吸収した経験を糧に、大学生や若手クリエイター・若者たちがさまざまな映像制作等の挑戦をしています。

「若者の挑戦を応援するまち」として、映像制作やイベント運営、SNS運用などの知識やノウハウを持つ官民一体の実行委員会がメインとなって、こうした若者たちの挑戦を支援し、若者やクリエイターが往来し、活気ある秋田市を目指していきます。



HPはこちら



3つの国際短編映画祭に登場！

企業版ふるさと納税制度を活用して、映像制作を通して地方創生を目指すプロジェクトとして、3つの国際短編映画祭に登場しました。

ショートショートフィルムフェスティバル&アジア



米アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」のトークセッションの様子



市公 YouTube



映画祭 HP

日本デンマーク映画祭

「MIRRORLIAR FILMS Season5」と学生がプロから学び制作した「参画屋の仔羊たち」がワールドプレミア上映。



札幌国際短編映画祭

札幌国際短編映画祭でプレミア上映 & トークセッション。



映画祭 HP

NEW



令和6年11月16日には、Season6作品や「ボクと鹿」を全国に先駆けて秋田市で上映するイベントを開催しました。テーマは「New Heights」。さらなる可能性の高みに向かっていきます。



上映祭 HP



1

千秋公園大手門の堀遊歩道

2024年7月11日、秋田市のJR秋田駅西口から徒歩5分ほどにある千秋公園大手門のお堀に、蓮をもっと近くで眺められる新たな遊歩道が完成しました！

「浮体式」の遊歩道は全長約250m、幅約3m。前から人が来ても十分にすれ違ふことができます。遊歩道内には立ち止まって撮影できる場所が6カ所あるので、ゆっくり蓮の撮影をすることができます。

毎年7月中旬頃から見頃を迎える千秋公園お堀の蓮を様々な演出でライトアップし、光・音楽が融合した幻想的な蓮の花が堪能できます。写真撮影などお気軽にお楽しみください。



千秋公園

秋田市千秋明徳町3
千秋明徳町地内



秋田市千秋公園 HP



4

江戸時代から受け継がれてきた 確かな木工技術

良い家具とはどういうものでしょうか。

永い間使い続けられる家具、デザイン設計に優れた家具、機能美に溢れた家具…。しかし、それらの家具を表現するためには、確かな技術が必要になります。江戸時代より継承されてきた木工技術は、形を変えながらも今に受け継がれています。

萩原製作所では、県や国の研究機関と連携しながら技術革新を重ね、技術力の向上に努めてきました。

時代とともに、人々の生活様式もしだいに移り変わり、使用される家具への期待も変化している中で、継承された技術をいかに容容するスタイルに合わせ、応用していけるかを考えながら家具作りをしています。

江戸時代から受け継がれてきた技術をさらに磨こうとする製作者の思いや使う人の家具への思いなど、そういった思いが込められた家具を「いい家具である」と思い、家具作りをしていると代表の萩原さんは語ります。

◀ 秋田市にぎわい交流館のベンチ

市内の様々な施設に萩原製作所が製作した家具が設置され、市民の憩いの場となっています。

秋田市 まちのホットスポット

蓮の花を間近に
楽しめる
新スポット

秋田の食を
語るには、まずは
「市場の酒屋」から

4 萩原製作所

2 秋田市民市場

3 HOPDOG BREWING

にぎわい
交流館AU



成型合板技術による応接セット・昭和25年製作

有限会社 萩原製作所

秋田市向浜1-4-10
TEL.018-862-4862



会社 HP

2

“秋田市民の台所”

“秋田の台所”秋田市民市場では、海の幸、山の幸などを取り扱う約70店舗が軒を連ね、秋田駅から徒歩3分という利便性から、朝早くから地元住民や県内外から多くの観光客で活気に溢れています。店頭で新鮮な魚介類を捌いてもらい、井にして楽しむ市場名物「のつけ井」。最近では、オリジナル海鮮井と一緒にお酒を楽しむのが定番コースとなっています。

「あきた市民市場メイト」では、秋田の地酒を幅広く取り揃え、お客さまと会話しながら、食材に適したお酒を提案しています。昨年から、県内酒蔵と協力してオリジナル銘柄の日本酒を企画。数量限定で販売した「ハチメンレイロウ」は完売したものの、新発売の「福小町 特別純米酒 いちばのおはこ」は近日返礼品として公開予定です。

「ふるさと納税をきっかけに興味を持ってもらい、秋田市を訪れていただいた際には、是非、市場の雰囲気を目で見て、飛び交う秋田弁を耳で聞いて、新鮮な味を舌で感じていただければ幸いです。（あきた市民市場メイト・千國さん）」

株式会社 あきた市民市場メイト

秋田市中通4-7-35
秋田市民市場1F
TEL.018-893-3917



Instagram



3

秋田市最後の銭湯が醸造工場に！

秋田市南通で地域のみなさまに愛された銭湯「星の湯」。その銭湯をリノベーションし、現在はクラフトビールの醸造工場として生まれ変わりました。ブルワリーとして生まれ変わっても、「星の湯」の看板はそのままに地域の人々の思いは受け継がれています。

銭湯は、コミュニケーションの場。人と人とのふれあいの場でした。この大切な場所を、多くの人に愛される場所、人と人がふれあえる、新たな出会いやコミュニケーションの発信地となる、そんな場所にしたいと思っています。HOPDOG BREWINGのこだわりは「秋田県産」であること。製造するクラフトビールとクラフトサイダーは秋田県産の原料を使用。これらの商品には、「秋田の原料を使った製品を多くの人に届けることで、人生と食卓をもっと豊かにしたい」という思いが込められています。大手メーカーのように大量生産はできませんが、今後も、世界にひとつだけのオリジナルビールをご提供していきます。

HOPDOG BREWING合同会社

秋田市南通みその町6-27
TEL.018-853-9168



会社 HP



秋田県産の原料で
美味しいビールを
造りたい！



技術と思いが
込められた家具は、
美しい



ふるさと納税 新規返礼品を 紹介します！



地域に愛され、
多様な食文化の橋渡し役になりたい

大正二年より秋田市で麺づくりを始め、「おいしさを大切に」「麺のある多様な食文化の橋渡し役」を合言葉に、地域の食材を使った製品開発を通して、秋田の素晴らしさを発信してきました。おかげさまで地域のみなさまに愛され、「緑のざる中華」「屋台の味 しょうゆ」など長い間ご愛顧いただいておりますので、一度は食べたことがある方もおられるのではないのでしょうか。

現在は、「秋田の名店シリーズ」と題して、秋田市内の有名飲食店とコラボしたスープ付き生麺と即席麺の開発、販売に取り組んでおります。名店の味をご家庭で味わっていただけるので、懐かしく思う方にも、初めての方にも喜んでいただけたと思います。特に即席麺は、独自の製法によりお店の生麺の食感により近づけることができました。



ヤマヨ 株式会社

秋田市泉中央一丁目3-56 TEL.018-863-5344



会社 HP



即席麺は小ロットで製造できるのもヤマヨの強み。今後も様々なお店との名店シリーズを展開していきたいと考えているので是非ご期待ください。

(ヤマヨ・佐藤さん)



「良品廉価」おいしいパンを、
おもとめやすく！



「バナナポート」

2024年冬頃から、返礼品として取扱予定

アベックトースト、バナナポート、学生調理、粒あんグッディ…思わず「懐かしい！」という声が聞こえそうなくらい秋田市民には馴染み深い商品の数々。どれもこれも、今も愛されるたけや製パンの商品です。

中でもバナナポートは、民間企業の調査によると東北の販売個数が2021年から3年連続第1位となっております。もし、最近食べてないなあという方がいらっしやいましたら、是非もう一度ご賞味ください。スポンジがよりきめ細かくなっており、一層おいしく改良されています。バナナポートに限らず、原材料の改良、製造方法の進化などの工夫も絶えず実施しており、高校生や、企業とのコラボ商品などの新商品開発にも力をいれながら、「おいしさ」を着実にふくらませていくために日々努力し続けています。



株式会社 たけや製パン

秋田市川尻町字大川反233-60 TEL.018-864-3117



会社 HP



“稲”の恵みで、みなさまに
“福”をもたらしたい

昭和40年、秋田市で開催された第16回全国菓子大博覧会に高松宮殿下がご臨席された際、「米どころ秋田らしい米を使ったお菓子がないのでは」と話をされたことをきっかけに設立された秋田いなふく米菓。古来秋田では、収穫間近の黄金色の稲穂を「稲の福」と呼んでいました。社名の由来である「お米(稲)」を使った米菓で皆さまに“福”をもたらしたいという熱い想いは、現在も従業員全員が受け継いでいます。

創業から手づくりと変わらない香ばしい伝統的な味わいを追求し、長い間愛される「ぬれおかき」や「納豆せんべい」もお客様の声や市場トレンドを取り入れながら、少しずつ改良や進化を続けています。

秋田の米菓メーカーとして、地元の味を活かした商品開発に加え、他社とのコラボ商品開発にも注力。ブランドの枠を超えたユニークな商品が人気となっています。今後も地元の美術大学生とのデザインコラボなど、米菓の美味しさはもちろん、時代の変化に即しながらチャレンジを続けていきます。

(秋田いなふく米菓・小寺さん)



秋田いなふく米菓 株式会社

秋田市川尻町字大川反170
TEL. 018-863-1729



会社 HP



「よりよい暮らしのあり方」を求めて…

秋田駅からほど近い仲小路エリアには、見ていて楽しい商店が軒を連ねており、中でも、色とりどりの食器を並べた「食器のさかいだ」は、ふらっと立ち寄りたくなるお店。店内には県内の作家の作品を展示するギャラリーや喫茶も併設されております。「新しい食器をご購入いただけることは嬉しいですが、『お気に入り』の食器を長く使っていただけることも非常に嬉しいと思います。愛着のある食器に囲まれて、お客様の生活が彩り豊かになることが、私どもの一つの願いです。」と語るのはスタッフの今野さん。

お客様のご要望に添った食器の提案はもちろんですが「お気に入り」の食器が割れてしまった!というご相談をされる方も多く、月に一度、秋田市を代表する漆工芸作家の齋藤国男さんをお招きし、金継ぎによる食器の修復相談会なども実施しております。

秋田・仲小路
食器の

株式会社 境田商事

「食器のさかいだ」

秋田市中通二丁目1-21
TEL.018-833-2843



会社 HP



「川連蒔絵 グラス土崎港曳山
まつり町紋ぐい呑(杉箱入り)」

秋田市土崎港に伝わる国指定重要無形民族文化財である「土崎港曳山まつり」に参加する、各町の町紋を800年余の歴史をもつ蒔絵と金箔とともにガラス器底部に加飾しました。お酒を入れると底の模様がゆらめき「金の酒」になると好評を得ています。



秋田市ふるさと納税

ふるさと納税って？

応援したい自治体に寄附できる制度です。確定申告又はワンストップ特例制度による申請により、寄附金のうち2,000円を超える部分については、所得税の還付、住民税の控除が受けられます（控除上限額の範囲内の場合）。いただいた寄附は、地域活性化や地域課題の解決に使われます。

2023年度の寄付額 **346,474,162円**

秋田市ふるさと納税の使いみち

※2023年度に実施した以下の事業・取組で活用しました。

1. 豊かで活力に満ちたまちのために

商工農林水産業の振興、スポーツの力をいかした地域活性化など

1,320件 **39,900,000円**

活用事業	活用額
再生可能エネルギー関連企業の誘致推進	1,655,000円
中心市街地等の空き店舗対策	15,952,000円
新卒者地元就職の促進	3,386,000円
農商工連携による農業ブランドの確立	8,814,000円
トップスポーツクラブの支援	10,093,000円
合計	39,900,000円

2. 緑あふれる環境を備えた快適なまちのために

環境保全の推進、都市環境の形成、情報通信技術の利活用など

526件 **13,339,000円**

活用事業	活用額
市民団体による自然環境保全活動の支援	55,000円
町内自治活動への助成や防犯灯の設置	12,452,000円
市民による都市緑化活動の支援	181,000円
公園施設の更新や修繕	482,000円
市民向けスマートフォン相談窓口	169,000円
合計	13,339,000円

3. 健康で安全安心に暮らせるまちのために

危機管理体制の確立、災害や雪に強いまちの確立、保健・医療・救急体制の充実など

979件 **28,015,000円**

活用事業	活用額
水防活動の拠点となる施設整備	639,000円
古川流域等の治水対策	2,993,000円
北部地区堆雪場の整備	6,721,000円
がん検診等の充実	15,208,000円
救急業務の高度化や体制強化	2,454,000円
合計	28,015,000円

4. 家族と地域が支えあう元気なまちのために

家族・地域の絆づくりの推進、高齢者福祉・子育て環境の充実、市民活動の推進など

916件 **28,496,000円**

活用事業	活用額
女性活躍推進の取組	199,000円
エイジフレンドリーシティの推進	338,000円
高齢者のバス利用助成	15,361,000円
放課後児童クラブの運営	12,102,000円
市民協働・市民活動の支援	496,000円
合計	28,496,000円

5. 人と文化をはぐくむ誇れるまちのために

文化財の保存、市民文化の振興、教育の充実など

423件 **13,760,500円**

活用事業	活用額
旧松倉家住宅の管理運営	1,658,000円
佐竹史料館の改築	3,861,000円
文化創造プロジェクトの推進	585,500円
千秋美術館の大規模改修	7,524,000円
ジュニアプログラミング講座の開催	132,000円
合計	13,760,500円

6. 市長が選ぶ取組のために

にぎわいの創出、都市基盤の確立、子ども・子育て環境の充実、シティプロモーションなど

7,389件 **185,401,000円**

活用事業	活用額
中心市街地のにぎわい創出	9,318,000円
シティプロモーションの推進	5,667,000円
外旭川地区まちづくり基本計画の策定	10,328,000円
子ども福祉医療制度の拡充	17,855,000円
第1子の保育料無償化	142,233,000円
合計	185,401,000円

●その他

- 令和5年7月
豪雨災害援助
- ウクライナ支援

3,324件 **37,562,662円**

活用事業	活用額
令和5年7月豪雨災害における災害見舞金	36,266,662円
ウクライナ支援（日本赤十字社への寄附）	1,296,000円
合計	37,562,662円

秋田市を応援いただき
ありがとうございます！

秋田市
ふるさと納税
ホームページ



秋田市ふるさと納税

秋田市企画財政部 人口減少・移住定住対策課

TEL.018-888-5487 FAX.018-888-5488 メール furusato-akita@city.akita.lg.jp

【秋田市ふるさと応援寄附金ホームページ】 <https://www.city.akita.lg.jp/shisei/hoshin-keikaku/1011478/1008502/1003148.html>